

## (添付資料) 調査の概要

### 1 調査時期

放射線量 平成17年5月24日～6月17日

重金属等 平成17年6月1日～6月10日

周辺水質調査 平成17年7月21日(Cr<sup>6+</sup>等検出3箇所の安全確認調査)

### 2 調査場所(施工現場)

いなべ市藤原町鼎 (フェロシルト施工量 約106千t)

いなべ市大安町丹生川 (フェロシルト施工量 約7千t)

四日市市垂坂 (フェロシルト施工量 約75千t)

四日市市山田 (フェロシルト施工量 約22千t)

亀山市辺法寺 (フェロシルト施工量 約131千t)

久居市榊原 (フェロシルト施工量 約11千t)

ただし、周辺水質調査は、  
、  
、  
の3箇所

### 3 重金属等調査項目

#### (1) 溶出試験

カドミウム、シアン、鉛、六価クロム、砒素、総水銀、セレン、ふっ素、ほう素  
全クロム、カルシウム、鉄、硫酸イオン

#### (2) 含有量試験

カドミウム、シアン、鉛、六価クロム、砒素、総水銀、セレン、ふっ素、ほう素

#### (3) 周辺水質調査

六価クロム、ふっ素

### 4 調査方法

#### (1) 放射線量

シンチレーションカウンター(可搬式放射線量測定器)により、施工現場の地上1mでの放射線量を計測。1施工現場での測定地点数は、4～15地点。

#### (2) 重金属等

施工現場内で露出しているフェロシルト等を採用し、科学技術振興センター保健環境研究部で分析。ただし、いなべ市藤原町鼎、四日市市山田については完全覆土済みであったため、覆土部を採用。

1施工現場での採取地点数は3地点(いなべ市藤原町鼎は2地点)

#### (3) 周辺水質調査

周辺河川・水路等の水を採用し、科学技術振興センター保健環境研究部で分析。

1施工現場周辺での採水地点数は2～3地点。

調査場所～については、平成17年5月～6月、地元市も水質調査を行っており、いずれも有害物質は検出されていません。

## 5 調査結果

### (1) 放射線量調査

調査地点	測定日	測定地点数	放射線量 ( $\mu\text{Gy/h}$ ) <small>マイクロ・グレイ</small>
いなべ市藤原町	H17.5.24	7	0.06 ~ 0.07
いなべ市大安町丹生川	H17.6.17	15	0.03 ~ 0.06
四日市市垂坂	H17.5.25	8	0.04 ~ 0.06
四日市市山田	H17.6. 7	4	0.04
亀山市辺法寺	H17.5.25	10	0.05 ~ 0.07
久居市榊原	H17.6. 7	7	0.04 ~ 0.07

### (2) 土壌調査 (六価クロム、ふっ素の溶出試験)

調査地点	採取日	六価クロム ( mg/L )		ふっ素 ( mg/L )	
		測定値	環境基準	測定値	環境基準
いなべ市藤原町	H17.6.10	< 0.04	0.05	0.1	0.8
いなべ市大安町丹生川	H17.6.10	< 0.04		0.4	
四日市市垂坂	H17.6.10	< 0.04		<b>4.3</b>	
四日市市山田	H17.6. 7	< 0.04		0.1	
亀山市辺法寺	H17.6.10	<b>0.06</b>		<b>3.1</b>	
久居市榊原	H17.6. 7	<b>0.16</b>		<b>6.0</b>	
フェロシルト (製品)	H17.6. 1	< 0.04		0.1	
参考：石原産業(株)保管 * 瀬戸からの持ち帰り分	H17.6. 1	<b>0.35</b>		<b>4.9</b>	

(注) 測定値については、施工現場における最大値 (フェロシルト (製品) を除く)

### (3) 土壌調査 (含有量試験)

調査地点	採取日	六価クロム	ふっ素	カドミウム	シアン	鉛
いなべ市藤原町	H17.6.10	< 2	< 50	< 1	< 5	10
いなべ市大安町丹生川	H17.6.10	< 2	170	1	< 5	20
四日市市垂坂	H17.6.10	< 2	670	2	< 5	30
四日市市山田	H17.6. 7	< 2	< 50	< 1	< 5	10
亀山市辺法寺	H17.6.10	< 2	630	3	< 5	50
久居市榊原	H17.6. 7	2	310	1	< 5	20
フェロシルト (製品)	H17.6. 1	< 2	50	1	< 5	< 10
参考：石原産業(株)保管 * 瀬戸からの持ち帰り分	H17.6. 1	8	510	2	< 5	40

(つづき)

調査地点	採取日	砒素	総水銀	セレン	ほう素
いなべ市藤原町	H17.6.10	< 5	< 1	< 1	< 30
いなべ市大安町丹生川	H17.6.10	< 5	< 1	< 1	< 30
四日市市垂坂	H17.6.10	< 5	< 1	< 1	< 30
四日市市山田	H17.6. 7	< 5	< 1	< 1	< 30
亀山市辺法寺	H17.6.10	< 5	< 1	< 1	< 30
久居市榊原	H17.6. 7	< 5	< 1	< 1	< 30
フェロシルト(製品)	H17.6. 1	< 5	< 1	< 1	< 30
参考：石原産業(株)保管 *瀬戸からの持ち帰り分	H17.6. 1	< 5	< 1	< 1	< 30

(注)測定値については、施工現場における最大値(フェロシルト(製品)を除く)  
単位はすべて「mg/kg」

(4)水質調査(六価クロム、ふっ素)

調査地点	採取日	六価クロム(mg/L)		ふっ素(mg/L)	
		測定値	環境基準	測定値	環境基準
四日市市垂坂	H17.7.21	< 0.04	0.05	< 0.1	0.8
亀山市辺法寺	H17.7.21	< 0.04		0.2	
久居市榊原	H17.7.21	< 0.04		0.1	

(注)測定値については、施工現場における最大値

(備考)

#### 環境基準

環境基本法(第16条)に基づき、「大気の汚染、水質の汚濁、土壌の汚染及び騒音に係る環境上の条件について、それぞれ、人の健康を保護し、及び生活環境を保全する上で維持されることが望ましい基準」として定められているものであり、行政上の政策目標です。この基準によって、公害発生源を直接規制することはできません。

#### 溶出試験

土壌環境基準に係る分析方法で、検体(フェロシルト等)を純水(pH5.8~6.3)と混合・振とうし、溶液中へ溶け出してくる重金属等の濃度を測定するものです。

#### 含有量試験

検体(フェロシルト等)中に含まれる重金属の量を測定するものです。含有量に関する土壌環境基準は設定されていません。